

へきしんディスクロージャー

2017年度第3四半期(平成29年12月末現在)

当金庫の 2017年度第3四半期の 業況をお知らせいたします。



平成29年度上半期経営報告会の開催(11月21日)



経営報告の様子



慶應義塾大学経済学部教授 金子勝氏による基調講演

碧南支店新築オープン(12月4日)



当金庫の概要(平成29年12月末現在)

創	業	昭和25年10月25日
預	金	2兆532億円
貸	出	金
出	資	1兆401億円
会	員	数
店	舗	数
駐	在	員
店	舗	外
役	職	員
長	期	発
行	体	格
付		

開示項目

- 預金・貸出金の状況
- 金融再生法に基づく開示債権
- トピックス

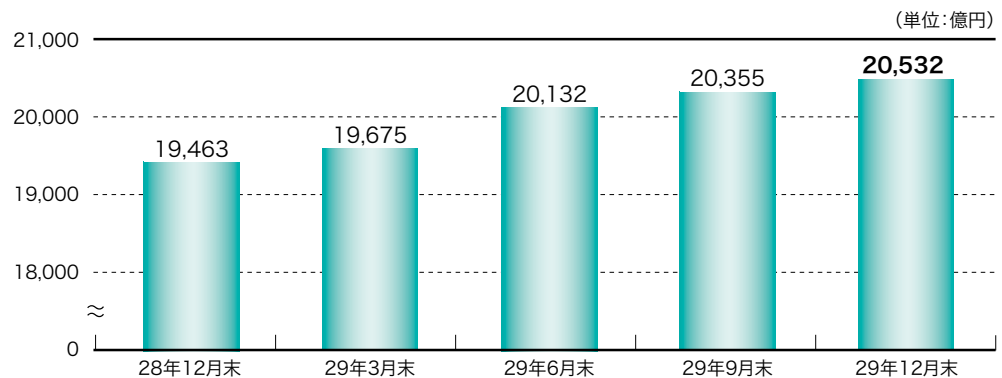
(注1)本資料に掲載している計数は、会計監査人の監査を受けておりません。

(注2)本資料に掲載している計数は、単位未満を切り捨てて表示しています。

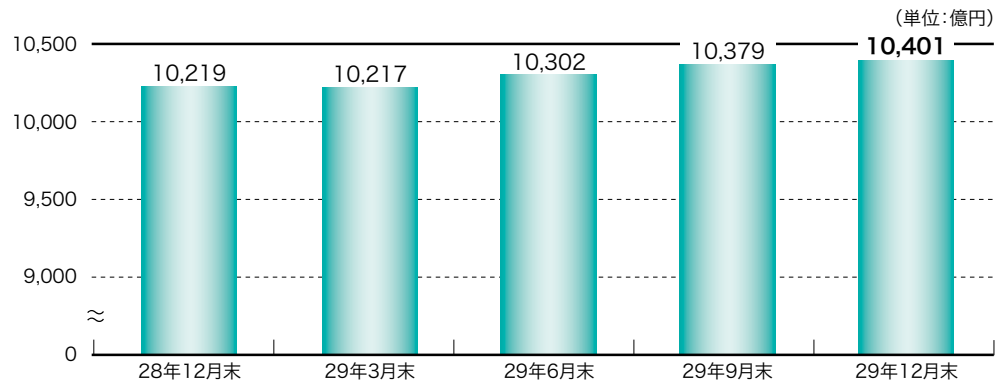
預金・貸出金の状況

地域の皆さまのご愛顧により、安定した経営規模で推移しています。

預金積金残高の推移



貸出金残高の推移



金融再生法に基づく開示債権

不良債権については、地域経済への影響を十分に考慮しつつ減少に努めています。

金融再生法開示債権の状況

(単位:億円)

	28年12月末	29年3月末	29年6月末	29年9月末	29年12月末
金融再生法ベースの不良債権(A)	328	322	316	320	316
破産更生債権及びこれらに準ずる債権	36	34	32	33	33
危険債権	210	205	207	207	203
要管理債権	81	81	77	79	79
正常債権	9,920	9,923	10,016	10,083	10,115
合計(B)	10,249	10,245	10,332	10,404	10,431
不良債権比率(A)/(B)	3.20%	3.14%	3.07%	3.08%	3.03%

(注) 平成29年12月末の計数は、「金融機能の再生のための緊急措置に関する法律施行規則」第4条に規定する各債権のカテゴリーにより分類しています。債務者区分は、平成29年9月末時点における当金庫自己査定による債務者区分を基準としています。ただし、10月1日から12月31日までに倒産、不渡り、延滞等の客観的な事実並びに内部格付による債務者区分の変更等があった債務者については、当金庫の定める基準に基づき債務者区分を見直すことにしています。従って、平成29年9月末の計数とは算出方法が異なるため、計数は連続していません。

2017年度第3四半期(平成29年12月末現在)

トピックス(平成29年10月1日～12月31日)

10月1日	「安城ビジネスコンシェルジュ」への当金庫職員の派遣
10月2日	「へきしんアプリ～スマート管理ぶらす～」の提供開始
10月11日	「経営力向上計画、補助金・助成金活用セミナー」を開催
9月24日～10月18日	「紅葉のカナダ横断の旅」観光旅行を実施
11月9日	「へきしんグローバルセミナー」を開催
11月13日	株式会社日本格付研究所(JCR)より長期発行体格付「A+」を据置取得(13年連続)
11月14日	「シニア人材交流会」を開催
11月15日	「笑顔の定期2017冬」の取扱開始
11月17日	愛知労働局と働き方改革にかかる包括連携協定を締結
11月21日	「平成29年度上半期 経営報告会」を開催
11月22日	「へきしん2017年度半期ディスクロージャー」を発行
11月25日	林野庁長官が御園支店を視察
11月27日	「へきしんフォトコンテスト」表彰式を開催
11月27日	「地域密着型金融の取組状況(平成29年4月～平成29年9月)」を公表
12月4日	碧南支店新築オープン
12月8日	「ビジネスマッチングin大府」を大府市と協力開催
12月18日～3月31日	「へきしんアプリ×へきしんLINE@ 登録Wチャンスキャンペーン」を開始



「へきしんアプリ～スマート管理ぶらす～」の提供開始(10月2日)



「経営力向上計画、補助金・助成金活用セミナー」を開催(10月11日)



「へきしんグローバルセミナー」を開催(11月9日)



「シニア人材交流会」を開催(11月14日)

当金庫では、主要な経営情報を四半期ごとに開示しております。今後とも、積極的な情報開示に努めてまいります。

へきしんフォトコンテスト 入賞作品決定！

平成29年6月1日～平成29年9月29日の期間、「心に残った“愛知の風景”」をテーマにフォトコンテストの作品を募集したところ、360名の方から応募いただきました。

審査の結果、入賞作品（最優秀賞1作品、優秀賞5作品・佳作15作品）を決定し、平成29年11月27日に表彰式を挙行了しました。

最優秀、優秀、佳作の全21作品のうち一部の入賞作品は、2018年版カレンダーに採用いたしました。

【最優秀賞】



【優秀賞】

